

令和8（2026）年度

東京大学大学院理学系研究科修士課程学生募集要項

※本募集要項の内容を変更する場合は東京大学大学院理学系研究科ウェブサイト

<https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/admission/master/> に掲示するので、随時、確認すること。

教育研究上の目的

自然界の真理の根源的理解に向けて、知を創造し、発展させ、それを継承することを教育研究の不変の目的として定める。学究の徒に対して理学の理念と方法論を教授することで、高度な専門力、広範な俯瞰力、高い問題解決能力・発信力・国際性を兼ね備えた独創性豊かな人材を養成する。

※詳細は下記を参照

<https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/overview/graduate01.html>

求める学生像

- ・ 専門分野における学士相当の基礎学力をもち、自然現象に通底する普遍性をとらえる理学的な思考法、未知の現象の核心に迫る方法論、論理的で明晰な分析力などを習得することに意欲的な人。
- ・ 新しい課題に対して、既成の概念にとらわれない新鮮な着想力で取り組み、未踏の道を切り拓いていける人。
- ・ 大学院で獲得した高度な知識と研究能力を礎として、将来的に社会の諸分野で活躍し、人類の持続的発展に貢献できる人。

入学選抜の基本方針

- ・ 専門分野における学士相当の基礎学力、論理的な思考力・解析力を有すること。
- ・ 未知の課題を主体的に解決する資質を有すること。
- ・ 研究成果を発信するための基本的な語学力とコミュニケーション能力を有すること。

1. 出 願 資 格

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和8（2026）年3月31日までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者（注2）
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について当該外国政府又は関係機関により評価を受けているものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月31日までに授与される見込みの者（注2）
- (4) 文部科学大臣の指定した者又は文部科学大臣が指定した教育施設等を修了した者及び令和8（2026）年3月31日までに修了見込みの者（注3）
- (5) 大学改革支援・学位授与機構により、学士の学位を授与された者及び令和8（2026）年3月31日までに授与される見込みの者

- (6) 個別の入学資格審査をもって、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、入学時において22歳に達しているもの(注1)(注4)

(注1) 上記(1)、(6)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を指す。

(注2) 上記(2)、(3)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) 上記(4)に該当する者とは、次の学校又は教育施設の卒業者(修了者)等を指す。

- ・文部科学大臣の指定する外国学校日本校の大学の課程
- ・文部科学大臣の指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることを始めとし、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)
- ・旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校

(注4) ① 上記(6)に該当する者とは、上記(1)～(5)に該当しない者のうち、4年制の大学に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者を指す。

② 上記(6)の資格により出願しようとする者は、出願前に書類による個別の入学資格審査を行うので、令和7(2025)年5月12日(月)から5月16日(金)に本研究科学務課教務チーム大学院担当(6. 出願手続の(1)の送付先参照)に申し出て、その指示に従うこと。

③ 入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。

2. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、出身学校の学業成績により行う。

出願者は志望する専攻が指示する全ての試験科目を受けなければならない。

3. 専攻別募集人員

専 攻	募 集 人 員	専 攻	募 集 人 員
物 理 学	130 名	化 学	72 名
天 文 学	23 名	生 物 科 学	84 名
地 球 惑 星 科 学	99 名		

- (1) 試験の成績によっては、合格者数が募集人員を上回る場合又は下回る場合がある。
- (2) 化学専攻においては、令和8(2026)年4月入学のほかに、令和7(2025)年10月入学を認める。募集人員は若干名である。なお、令和7(2025)年10月入学を希望する者は、1. 出願資格の(1)から(5)までの「令和8(2026)年3月31日」を「令和7(2025)年9月30日」と読み替えること。

4. 専攻別試験科目及び試験期日

試験は、以下の日程により行われる。試験の場所、その他詳細については、令和7（2025）年7月22日（火）に入学願書の「現住所」に登録した E-mail 宛に受験票とともに送付する受験者心得で通知する。
 なお、出願希望者は、各専攻の内容を詳述した各専攻のウェブサイト等を参照すること。

専攻名	試験期日	試験科目・内容
物理学	8月19日（火）	○外国語 英語 事前に受験した TOEFL iBT または TOEFL iBT Home Edition または TOEIC Listening & Reading 公開テスト のいずれか1つの公式スコアの提出を課す(ただし、TOEIC Listening & Reading 公開テストは日本国内で受験した場合に限る)。試験日が 2023 年 10 月 1 日以降のスコアを有効とする。スコアの提出については物理学専攻のウェブサイト进行参照すること。 https://www.phys.s.u-tokyo.ac.jp/lp/graduate/ ○専門科目 数学1問、物理学3問を出題する。 数学は、物理学研究に必要となる基礎的な数学の問題を出題する。 物理学は、基本的な物理の問題を出題する。量子力学、統計力学、古典力学及び電磁気学を主な範囲とする。 ※過去の問題は下記を参照 http://www.phys.s.u-tokyo.ac.jp/about/147/
	9月2日（火） ～9月3日（水）	○口述試験 あらかじめ提出した第一志望及び第二志望にしたがって、サブコースごとに分かれた口述試験を行う。
		筆記試験の結果により、口述試験対象者を決定し、8月28日（木）に発表する。（発表場所は受験票送付時に通知する。）

化学	8月19日（火） 9月3日（水）	○外国語 英語 TOEFL ITP テストを行う。あるいは事前に受験した TOEFL iBT テストか TOEIC Listening & Reading 公開テストのいずれか1つの公式スコア提出を課す。ただし、TOEIC Listening & Reading 公開テストは日本国内で受験した場合に限る。 TOEFL ITP テストは、団体用の試験であり、試験実施日に、試験会場で受験する形式となる。なお、獲得スコアは本専攻の入試においてのみ有効である。 TOEFL iBT テストは、2023年9月1日以降に受験したものが有効となる。出願時に Test Taker Score Report（受験者スコアレポート）を提出すること。なお、My Best スコアは適用されない。 TOEIC Listening & Reading 公開テストは、2023年9月1日以降に日本国内で受験したものが有効となる。出願時にデジタル公式認定証を提出すること。 ○専門科目 対面による筆記試験を行う。 専門的研究を行うにあたり、必要な科学全般の基礎知識ならびに思考能力について筆記試験を行う。化学6題、数理科学1題、地球科学1題、生物化学1題の9題のうち5題を選択する。また、大学院入学後どのような分野に進み、どんな研究を行いたいと希望しているかについて400字程度の作文を課す。 ※過去の問題は下記を参照 http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/chem_graduate/kakomon.html ○口述試験 オンラインによる口述試験を行う。 専門的研究を遂行するための基礎学力、志望動機の妥当性、適性などについて試問する。 入試案内書、スケジュールなどの詳細は、出願システム内に掲載するので、随時、確認すること。
---------------	--	--

生 物 科 学	8 月 1 9 日 (火)	○外国語 英語 事前に受験した TOEFL iBT または TOEFL iBT Home Edition または TOEIC Listening & Reading 公開 Test (いずれの場合も 2 0 2 3 年 1 0 月 1 日以降に受験したもの) のスコアの提出を課す。ただし、TOEIC Listening & Reading 公開テストは日本国内で受験した場合に限る。スコアの提出については生物科学専攻のウェブサイトを参照すること。 https://www.bs.s.u-tokyo.ac.jp/admission/ ○専門科目 ・第 1 問～第 5 問からなり、以下のように選択解答させる。 ・第 1 問～第 4 問は分子生物学・生化学 (2 問)、細胞生物学、遺伝学の筆記問題で、この中から任意の 2 問を選んで解答させる。 ・第 5 問は論述形式の問題で、全部で 5 程度ある小問 (生物化学・生物情報科学、動物学、植物学、人類学、進化・自然誌学の問題を含む) の中から任意の 1 問を選んで解答させる。 過去の修士課程試験問題 (筆記による専門科目試験問題) は次のページを参照のこと。 https://www.bs.s.u-tokyo.ac.jp/admission/
	8 月 2 6 日 (火)	○面接試験 (オンライン口述試験とする) 専門的研究を始めるにあたり、志望の妥当性や適性などを面接試験で確認する。 筆記試験と口述試験の結果を総合して最終合格者を決定する。

5. 合格者の発表及び入学手続

(1) 合格者の発表は、令和7(2025)年9月17日(水)午前12時頃に本研究科ウェブサイト <https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/admission/master/> に掲載する。(掲示期間1週間)

(2) 入学手続書類は、令和8(2026)年2月下旬に送付する。2月27日(金)までに入学手続書類が到着しない場合には、直ちに本研究科学務課教務チーム大学院担当(6. 出願手続の(1)の送付先参照)に連絡し、指示を受けること。合格者は、入学手続要領により、3月中の所定の期間内に必要な入学手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

なお、令和7(2025)年10月入学者については、入学許可通知および入学手続書類を9月17日(水)に送付するので、所定の期間内に入学手続を行うこと。

(3) 入学時に必要な経費(令和8(2026)年度予定額)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

① 入学料 282,000円(予定額)

② 授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

(注) 上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

6. 出 願 手 続

(1) 出 願 方 法

出願はオンライン入力によって行う。

オンライン出願については、本研究科ウェブサイトから指定されたウェブページにアクセスし、指示に従って必要事項を入力すること。

<https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/admission/master/>

受付期間 令和7(2025)年6月18日(水)10時から6月24日(火)15時※
(※出願システムにアクセス可能な時間)

送付先 〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号
東京大学大学院理学系研究科学務課教務チーム大学院担当
電話 03-5841-4080 E-mail daigakuin.s@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

(2) 出 願 書 類 等

入学願書	オンラインの様式による。オンライン上の指示に従い、出願フォームに入力すること。
成績証明書	学部(教養課程を含む)の成績を証明するもので、オンライン入力画面でアップロードすること。合格者については、直近に発行された原本(紙媒体)を入学手続き時に提出すること。ただし、本学理学部を令和8(2026)年3月卒業見込みで同一専攻に出願した者は不要。
写真	3か月以内撮影の正面上半身脱帽かつ無背景のものをデジタル画像化し、オンライン入力画面でアップロードすること。

検定料 30,000円	【銀行振込】又は【コンビニエンスストアでの払込】、【ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込】若しくは【クレジットカード・中国オンライン決済（銀聯）での払込】のいずれかに限る。いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。 令和7（2025）年6月2日（月）から6月24日（火）の間に払い込むこと。 外国人出願者のうち、本入学試験に合格し、当研究科に日本政府（文部科学省）奨学金留学生として入学することが決定した者については、後日検定料を返金する。 【銀行振込の場合】 別添振込依頼書の「出願者へのお願い」を参照の上、必要事項を記入し、最寄りの金融機関（※ゆうちょ銀行・郵便局不可）の窓口から、振り込むこと（※ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネット等は利用しないこと）。振り込みの際、振込金受取書（B票）及び払込金受付証明書（C票）を受け取り、払込金受付証明書（C票）をオンライン入力画面にアップロードすること。 振込金受取書（B票）は領収書なので、大切に保管すること。 ※ゆうちょ銀行・郵便局、ATM、インターネット等での振り込みでは、「払込金受付証明書（C票）」が発行されないので利用しないこと。 【コンビニエンスストアでの払込の場合】 コンビニエンスストアは、「セブン-イレブン」、「ローソン」、「ファミリーマート」、「ミニストップ」に限る。 払込に関する操作手順や注意事項については、別添「東京大学大学院理学系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分をオンライン入力画面にアップロードすること。 【ペイジー対応 ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込の場合】 払込に関する操作手順や注意事項については、別添「東京大学大学院理学系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、申込完了時に通知された【お客様番号】と【生年月日】を入力し、照会結果をオンライン入力画面にアップロードすること。 【クレジットカード・中国オンライン決済（銀聯）での払込の場合】 クレジットカードは、「ビザカード (VISA)」、「マスターカード (Master)」、「JCBカード」、「アメリカン・エクスプレスカード (American Express)」が利用可能。 払込に関する操作手順や注意事項については、別添「東京大学大学院理学系研究科 検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、申込完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果をオンライン入力画面にアップロードすること。
----------------	---

7. 注 意 事 項

- (1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない※。また、本一般選抜以外の選抜方法で出願した者は、同一年度の同一時期への入学を目的として、本一般選抜へ出願することができないので注意すること。

※ 化学専攻に出願する者は、令和7（2025）年10月入学と令和8（2026）年4月入学のうち、いずれか一つを選ばなければならない。

さらに、令和7（2025）年10月入学を希望する場合には、本研究科のどの専攻にも令和8（2026）年4月入学を目的として出願することができないので注意すること。

- (2) 提出期日までに必要書類が完備しない願書は受理しない。
- (3) 出願手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、また、検定料の払い戻しもできない。
- (4) 受験票及び受験者心得は、令和7（2025）年7月22日（火）午後以降に入学願書の「現住所」に登録した E-mail 宛に送付する。7月25日（金）までに到着しない場合には、必ず本研究科学務課教務チーム大学院担当（6．出願手続の（1）の送付先参照）に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (5) 官公庁・企業・団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、入学手続の際に「在職のまま大学院に入学することに支障はない」旨の勤務先の承諾書（任意様式。証明者は上長であれば役職は問わない。要押印。）の提出が必要となる場合がある。必要な場合は受験者心得及び入学手続要領で通知するので、その指示に従うこと。
- (6) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は、令和7（2025）年5月30日（金）までに本研究科学務課教務チーム大学院担当（6．出願手続の（1）の送付先参照）に申し出ること。希望する配慮により、申請書類を案内する。なお、上記期日を過ぎての申出についても引き続き配慮検討の対象となるが、事前の配慮準備の関係で、申請が遅くなるほど、実際に提供できる受験上の配慮が限定されるので、なるべく早く申し出ること。
- （詳細は、研究科ウェブページ <https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/admission/master/index.html> 参照）
- (7) 外国人は、入学手続時までに、「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」の規定により、大学院入学に支障のない在留資格を有することを要する。
- (8) 事情により、出願手続、試験期日等について、変更することがある。変更があった場合は、あらためて通知する。
- (9) 入学手続後は、どのような事情があっても入学料の払い戻しはできない。
- (10) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金等手続き、図書館の利用等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (11) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (12) 入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (13) 東京大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から学生の受入れ前、及び在学中に、厳格な安全保障輸出貿易管理を行っている。特に外国人留学生及び一部の日本人学生については、受入れ前の審査を必須としている。

従って、外為法上規制されている事項に該当する場合は、たとえ入学試験の選考により最終合格しても、その後入学が許可出来ない場合や、入学後の希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。

令和7（2025）年4月

大学院理学系研究科指導教員専攻分野一覧

物理学専攻

202504

【物理学専攻 注意事項】

教員名欄の記載について：

○は、今年度実施の入学試験において、修士課程学生を受け入れない。

◇は、今年度実施の入学試験において、博士課程学生を受け入れない。

物理学専攻

専 攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
物 理 学	A 0 原 子 核 理 論	教授 福嶋健二	原子核理論	理学系研究科物理学専攻
		准教授 Haozhao LIANG	原子核理論	〃
		客員教授 木村真明	原子核理論	理化学研究所
		客員准教授 土井琢身	原子核理論	〃
	A 1 素 粒 子 理 論	教授 諸井健夫	素粒子論・宇宙論	理学系研究科物理学専攻
		教授 山崎雅人	素粒子論・超弦理論	〃
		准教授 濱口幸一	素粒子現象論・初期宇宙論	〃
		准教授 伊部昌宏	素粒子理論	宇宙線研究所
		教授 村山 斉	素粒子論・初期宇宙論	カブリ数物連携宇宙研究機構
		教授 堀健太郎	素粒子論・弦理論	〃
		教授 松本重貴	素粒子論・宇宙論	〃
		教授 立川裕二	場の量子論・弦理論	〃
		教授 Simeon HELLERMAN	Quantum field theory/quantum gravity	〃
		准教授 Thomas MELIA	素粒子の現象論	〃
	A 2 素 粒 子 実 験 ・ 原 子 核 実 験 ・ 加 速 器	教授 横山将志	素粒子物理学実験	理学系研究科物理学専攻
		教授 中村哲	原子核物理学実験	〃
		教授 寄田浩平	素粒子物理学実験・宇宙物理学実験	〃
		准教授 中島康博	素粒子・宇宙素粒子物理学実験	〃
		准教授 鈴木大介	原子核物理学実験・天体核物理	〃
		教授 酒見泰寛	原子核物理学実験	理学系研究科原子核科学研究センター
		准教授 矢向謙太郎	原子核物理学実験	〃
		准教授 今井伸明	実験核物理	〃
		准教授 郡司卓	高エネルギー原子核物理学実験	〃
		講師 山口英斉	原子核物理学実験・宇宙核物理学	〃
		教授 石野雅也	素粒子物理学実験	素粒子物理国際研究センター
		教授 田中純一	素粒子物理学実験	〃
		教授 寺師弘二	素粒子物理学実験・量子情報応用	〃

物理学専攻

専 攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
	A 2 素 粒 子 実 験 ・ 原 子 核 実 験 ・ 加 速 器	准教授 大谷航	素粒子物理学実験	素粒子物理国際研究センター
		准教授 奥村恭幸	素粒子物理学実験	〃
		准教授 澤田龍	素粒子物理学実験・量子情報応用	〃
		特任准教授 末原大幹	素粒子物理学実験	〃
		教授 樋口岳雄	素粒子物理学実験	カブリ数物連携宇宙研究機構
		教授(委) 齊藤直人	原子核・素粒子物理学実験	高エネルギー加速器研究機構
		教授(委) 後田裕	素粒子物理学実験	〃
		教授(委) 小関忠 ◇	加速器	〃
		教授(委) 三部勉	素粒子物理学実験	〃
		教授(委) 佐藤政則	加速器	〃
		准教授(委) 小沢恭一郎	高エネルギー原子核物理学実験	〃
	A 3 物 性 理 論	教授 上田正仁	冷却原子気体理論・情報熱力学・量子測定	理学系研究科物理学専攻
		教授 村尾美緒	量子情報理論・量子力学基礎論	〃
		教授 藤堂眞治	計算物理	〃
		教授 有田亮太郎	物性物理学理論・計算物質科学	〃
		准教授 桂法称	物性物理学理論・統計力学	〃
		准教授 辻直人	物性物理学理論・非平衡量子多体系	〃
		教授 樺島祥介	統計力学・情報理論・機械学習	理学系研究科知の物理学研究センター
		准教授 蘆田祐人	物性物理学理論・量子物理	〃
		教授 羽田野直道	物性基礎論・量子基礎論	生産技術研究所
		教授 川島直輝	計算物理学・統計力学	物性研究所
		教授 尾崎泰助	計算物質科学	〃
		教授 岡隆史	物性物理学理論・統計力学	〃
		准教授 加藤岳生	物性物理学理論	〃
		准教授 川畑幸平	物性理論（物性基礎論）・非平衡物理	〃
		教授 加藤雄介	物性物理学理論	総合文化研究科
	A 4 物 性 実 験	教授 中辻知	量子物性	理学系研究科物理学専攻
		准教授 岡本徹	低次元半導体物性・低温物性	〃
		准教授 林将光	スピン・光物性	〃
		講師 酒井明人	強相関量子多体系	〃
		教授 小林研介	量子物性	〃
		教授 島野亮	光物性物理・レーザー分光	低温科学研究センター

物理学専攻

専 攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
	A 4 物性 実験	准教授 村川智	低温物理学・量子液体・固体	低温科学研究センター
		教授 松田巖	光物性物理・表面物性	物性研究所
		教授 徳永将史	強磁場物理学	〃
		准教授 近藤猛	角度分解光電子分光・電子物性	〃
		准教授 橋坂昌幸	量子輸送	〃
		准教授 北川健太郎	物性物理学	〃
	A 5 一般 物理学 理論	教授 吉田直紀	宇宙物理学	理学系研究科物理学専攻
		教授 Kipp CANNON	Gravitational Wave Astrophysics	理学系研究科ビッグバン宇宙 国際研究センター
		准教授 仏坂健太	宇宙物理学・重力波物理学	〃
		教授 田越秀行	重力波宇宙物理学	宇宙線研究所
		教授 浅野勝晃	高エネルギー宇宙物理学	〃
		教授 高田昌広	宇宙物理学・宇宙論	カブリ数物連携宇宙研究機構
		教授(兼) 石川顕一	○ 光量子物理学理論、アト秒科学理論	工学系研究科
	A 6 一般 物理学 実験	准教授 竹内一将	非平衡統計力学・生物物理学・ソフトマター	理学系研究科物理学専攻
		准教授 相川清隆	浮揚オプトメカニクス・原子分子物理学	〃
		准教授 井手口拓郎	光科学	理学系研究科附属フォトンサイ エンス研究機構
		准教授 小西邦昭	光物性・メタマテリアル・レーザー加工	〃
		教授 秋山英文	◇ 光物性・半導体・レーザー・生物発光	物性研究所
		教授 板谷治郎	高強度レーザー・超高速分光・アト秒科学	〃
		准教授 松永隆佑	テラヘルツ-中赤外域の固体中極端非線形光学	〃
		教授 江尻晶	プラズマ物理学・核融合科学	新領域創成科学研究科
		准教授 辻井直人	プラズマ物理学・核融合科学	〃
		准教授 柳澤実徳	ソフトマター・生物物理学	総合文化研究科
	A 7 生物 物理	教授 岡田康志	生物物理学	理学系研究科物理学専攻
		教授 古澤力	生物物理学（理論/実験）	〃
		准教授 伊藤創祐	生物物理学（理論）・非平衡統計力学	理学系研究科生物普遍性機構
		准教授 川口喬吾	生物物理・非平衡物理・機械学習	理学系研究科附属知の物理学 研究センター
		准教授 野口博司	ソフトマター理論	物性研究所
		教授 酒井邦嘉	脳機能イメージング・言語脳科学	総合文化研究科
		教授 新井宗仁	蛋白質物理学・生物物理学	〃
		教授 若本祐一	生物物理学・システム生物学	〃
	A 8	教授 安東正樹	重力波宇宙物理学	理学系研究科物理学専攻

物理学専攻

専 攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
	A 8 宇宙 物理 実験・ 宇宙 素粒 子実 験	准教授 馬場彩	宇宙物理学実験	理学系研究科物理学専攻
		准教授 日下暁人	宇宙物理学実験・観測的宇宙論	〃
		准教授 道村 唯太	実験重力物理学	理学系研究科ビッグバン宇宙 国際研究センター
		教授 荻尾彰一	宇宙線物理学	宇宙線研究所
		教授 塩澤真人	素粒子・宇宙線物理学実験	〃
		教授 窪秀利	ガンマ線宇宙物理学	〃
		教授 森山茂栄	素粒子・宇宙線物理学	〃
		教授 大内正己	観測的宇宙論・宇宙物理学	〃
		教授 三代木伸二	重力波実験物理学	〃
		教授 早戸良成	ニュートリノ物理学	〃
		教授 埴隆志	宇宙線物理学	〃
		准教授 吉越貴紀	ガンマ線宇宙物理学	〃
		准教授 奥村公宏	ニュートリノ物理学	〃
		准教授 内山隆	重力波物理学	〃
		准教授 関谷洋之	宇宙素粒子物理学	〃
		准教授 中山祥英	素粒子・宇宙素粒子物理学実験	〃
		准教授 宮川治	重力波実験物理学	〃
		准教授 竹田敦	素粒子・宇宙線物理学	〃
		教授 Mark VAGINS	Neutrino Astrophysics	カブリ数物連携宇宙研究機構
		准教授 Kai MARTENS ○	Dark Matter direct detection, Astrophysical neutrinos	〃
		准教授 松村知岳	宇宙物理学実験・観測的宇宙論	〃
		教授(委) 山崎典子	高エネルギー宇宙物理学	JAXA/宇宙科学研究所
		准教授(委) 山口弘悦	高エネルギー天文学・実験室宇宙物理学	〃
		准教授(委) 和泉究	宇宙物理学実験・重力波天文学	〃

大学院理学系研究科指導教員専攻分野一覧

天文学専攻

202504

天文学専攻

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
天文学	A	教授 戸 谷 友 則	宇宙物理学	理学系研究科天文学専攻
		教授 相 川 祐 理	星・惑星系形成	〃
		准教授 梅 田 秀 之	理論天体物理学	〃
		准教授 藤 井 通 子	理論天体物理学	〃
		教授（兼）鈴 木 建	理論天体物理学	総合文化研究科
		教授（委）小久保 英一郎	理論天体物理学・惑星系天文学	国立天文台
		准教授（委）中 村 文 隆	星形成・星間物理学	〃
	B	教授 柏 川 伸 成	銀河天文学	理学系研究科天文学専攻
		准教授 嶋 作 一 大	銀河天文学	〃
		教授 宮 田 隆 志	赤外線天文学	理学系研究科天文学教育研究センター
		教授 本 原 顕太郎	赤外線天文学・銀河天文学	〃
		特任教授 峰 崎 岳 夫	赤外線天文学・銀河天文学	〃
		准教授 小 林 尚 人	天体物理学	〃
		准教授 酒 向 重 行	可視赤外線天文学	〃
		准教授 左 近 樹	赤外線天文学・実験室宇宙物理学	〃
		教授（兼）John Silverman	銀河天文学	カブリ数物連携宇宙研究機構
	C	教授 河 野 孝太郎	電波天文学・銀河天文学	理学系研究科天文学教育研究センター
		准教授 Patricio Sanhueza	電波天文学・星形成	理学系研究科天文学専攻
		准教授 江 草 英 実	電波天文学・銀河天文学	理学系研究科天文学教育研究センター
		教授（委）本 間 希 樹	電波天文学・銀河天文学	国立天文台
		准教授（委）廿日出 文 洋	電波天文学・銀河天文学	〃
		准教授（委）泉 拓 磨	電波天文学・活動銀河核	〃
	D	教授（委）都 丸 隆 行	重力波物理学	〃
		教授（委）鹿 野 良 平	観測天文学	〃
		教授（委）勝 川 行 雄	太陽物理学	〃
		教授（委）関 本 裕太郎	実験宇宙物理学	JAXA/宇宙科学研究所
		准教授（委）河 原 創	太陽系外惑星・データ天文学	〃

天文学専攻

専攻	サブ コース	教員名	専攻分野	所属部局
	D	准教授（委）辻本匡弘	X線天文学	JAXA/宇宙科学研究所

大学院理学系研究科指導教員専攻分野一覧

地球惑星科学専攻

202504

【地球惑星科学専攻 注意事項】

教員名欄の記載について：

※は、副指導教員としてのみ大学院学生を指導できます。

◆は、今年度博士課程学生を受け入れない教員です。

＃は、今年度修士及び博士課程学生を受け入れない教員です。

地球惑星科学専攻

専 攻	グ ル ー プ	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
地球惑星科学	大気海洋科学	教 授 勝又 勝郎	海洋物理学・海洋大循環論	理学系研究科地球惑星科学専攻
		教 授 升本 順夫	気候力学・大気海洋循環物理学	〃
		准教授 小池 真 ◆	大気環境科学	〃
		准教授 東塚 知己	海洋物理学・気候力学	〃
		准教授 三浦 裕亮	大気物理学・気候モデリング	〃
		教 授 岡 英太郎	海洋物理学・海洋観測	大気海洋研究所
		教 授 佐藤 正樹	大気科学・気象力学・地球流体力学・数値モデリング・気候力学	〃
		教 授 鈴木 健太郎	雲物理学・大気放射・雲とエアロゾルの相互作用・気候モデリング・衛星データ解析	〃
		教 授 羽角 博康	海洋物理学・気候力学	〃
		教 授 渡部 雅浩	気候モデリング・気候力学・大規模大気循環の力学	〃
		准教授 伊賀 啓太	地球流体力学・気象力学・海洋力学	〃
		准教授 今田 由紀子	気候力学・異常気象と気候変動・気候モデリング	〃
		准教授 岡 顕	海洋物理学・気候モデリング・海洋物質循環モデリング・古海洋モデリング	〃
		准教授 宮川 知己	スケール間相互作用・雲解像モデリング・気候モデリング・大気海洋結合系・熱帯気象学	〃
		講 師 横山 千恵	大気科学・熱帯気象学・衛星データ解析	〃
		准教授(委) 土井 威志 ※	気候予測・気候力学	海洋研究開発機構
	宇宙惑星科学	教 授 今田 晋亮	宇宙空間物理学・太陽物理学・磁気圏物理学	理学系研究科地球惑星科学専攻
		教 授 杉田 精司	惑星探査・比較惑星学	〃
		教 授 橘 省吾	宇宙化学	〃
		准教授 天野 孝伸	宇宙空間物理学・プラズマ宇宙物理学	〃
		准教授 笠原 慧	宇宙惑星科学：探査機搭載粒子観測器の開発・データ解析	〃
		准教授 諸田 智克	惑星科学・月惑星探査・惑星地形学	〃
		教授(委) 白井 寛裕	地球化学・岩石学・惑星探査学	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所
		教授(委) 齋藤 義文	惑星磁気圏物理学・惑星探査用観測装置開発	〃
		教授(委) 篠原 育	宇宙プラズマ物理学・磁気圏物理学	〃
		教授(委) 清水 敏文	太陽・天体プラズマ物理学	〃
		教授(委) 山崎 敦	惑星探査・宇宙空間物理学	〃

地球惑星科学専攻

専 攻	グ ル ー プ	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
	宇 宙 惑 星 科 学	教授(兼) 三河内 岳	惑星物質科学・鉱物理学・隕石学	総合研究博物館
		教授(兼) 今村 剛	惑星大気科学・惑星探査	新領域創成科学研究科
		教授(兼) 吉川 一郎	惑星探査、大気・プラズマのリモートセンシング	〃
		准教授 吉岡 和夫	惑星探査・宇宙空間物理学	〃
		教 授 関 華奈子	太陽惑星系物理学・電磁気圏物理学・宇宙空間プラズマ物理学	先端科学技術研究センター
		教授(兼) 宮本 英昭	惑星地質学・宇宙資源	工学系研究科
		教授(委) 竝木 則行	固体惑星科学	国立天文台
		准教授(委) 片岡 龍峰 ※	宇宙空間物理学	国立極地研究所
	地 球 惑 星 シ ス テ ム 科 学	教 授 田近 英一	地球惑星システム科学・地球史学・比較惑星環境進化学・アストロバイオロジー	理学系研究科地球惑星科学専攻
		教 授 橘 省吾	宇宙化学	〃
		教 授 山野 博哉	地球人間圏科学・自然地理学・環境学・サンゴ礁学	〃
		准教授 池田 昌之	古環境学・古気候学・地球惑星システム科学・地質学	〃
		准教授 瀧川 晶	宇宙鉱物理学・実験宇宙物理化学・銀河物質循環学	〃
		准教授 今西 祐一	測地学	地震研究所
		准教授 三浦 弥生	同位体地球惑星科学	〃
		教 授 阿部 彩子 ◆	長期気候変動・古気候モデリング・南極氷床変動・氷床-気候ダイナミクス	大気海洋研究所
		教 授 横山 祐典	気候変動学・海面変動・サンゴ気候学・加速器質量分析・年代測定学・地球化学・南極氷床変動・地形学	〃
		准教授 黒田潤一郎	古海洋学・海洋地質学・地球化学	〃
		准教授 吉森 正和	気候システム・気候変動・気候モデリング(地球温暖化・極域気候・古気候)	〃
		准教授 小坂 優	気候変動・異常気象・気候力学	先端科学技術研究センター
		准教授 日比谷 由紀	宇宙惑星物質進化学	〃
		准教授 森 俊哉	火山学・火山化学	理学系研究科地殻化学実験施設
		教授(兼) 小口 高 ◆	地理情報科学・地形学	空間情報科学研究センター
		教授(兼) 須貝 俊彦	地形学・自然環境論	新領域創成科学研究科自然環境学専攻
		教授(兼) 小宮 剛	地球型惑星の惑星内部・生命環境進化解読、地質学、岩石学	総合文化研究科広域科学専攻 広域システム科学系
		准教授(兼) 黒川 宏之	惑星系形成論・惑星環境進化学・惑星大気科学・太陽系科学	総合文化研究科広域科学専攻
		教授(委) 生駒 大洋	惑星天文学・系外惑星学・惑星形成論	国立天文台
		教授(委) 井田 茂 ※	惑星物理学・アストロバイオロジー	東京工業大学地球生命研究所
	固 体 地 球 科 学	教 授 井出 哲	地震学・地震発生論	理学系研究科地球惑星科学専攻
		教 授 Simon WALLIS ◆	構造岩石学・テクトニクス	〃
		教 授 武井 康子	地球内部物性とダイナミクス(特に多結晶体の粘弾性、固液複合系の物性・流体移動ダイナミクス)	〃
		教 授 廣瀬 敬	高圧地球科学・地球深部物質学	〃

地球惑星科学専攻

専 攻	グ ル ー プ	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
	固 体 地 球 科 学	准教授 安藤 亮輔	震源物理学・地震テクトニクス	理学系研究科地球惑星科学専攻
		准教授 飯塚 毅	宇宙地球化学	〃
		准教授 河合 研志	グローバル地震学・地球惑星内部構造	〃
		准教授 田中 愛幸	測地学・地殻変動・重力・相対論的測地学	〃
		准教授 宇野 正起	岩石学・地球化学・地殻流体科学・地震発生帯の岩石流体反応と破壊・二酸化炭素鉱物固定・超臨界地熱・地化学機械学習	〃
		教 授 新谷 昌人	地球計測学	地震研究所
		教 授 市原 美恵	火山物理学	〃
		教 授 岩森 光 ◆	地球ダイナミクス	〃
		教 授 内田 直希	沈み込み帯地震学・地震活動・地震サイクル・地震予測・地震火山データサイエンス	〃
		教 授 大湊 隆雄	火山物理学	〃
		教 授 加藤愛太郎	震源物理学・観測地震学	〃
		教 授 加藤 尚之	震源力学	〃
		教 授 篠原 雅尚	海洋地震学	〃
		教 授 清水 久芳	地球電磁気学・地球流体力学・電磁流体力学	〃
		教 授 竹内 希	地震学	〃
		教 授 田中 宏幸	高エネルギー地球物理学	〃
		教 授 中谷 正生	震源物理学・実験岩石力学・鉱山地下地震観測学・地震先行現象	〃
		教 授 西田 究	地震学	〃
		教 授 平賀 岳彦	鉱物・岩石物理	〃
		教 授 古村 孝志	地震波データ解析・地震波の伝播計算・強震動・地震津波災害軽減	〃
		教 授 望月 公廣	海域地震学	〃
		教 授 安田 敦 ◆	実験マグマ学	〃
		教 授 綿田 辰吾	地震学・津波	〃
		准教授 青木 陽介	宇宙測地学・火山物理学	〃
		准教授 石山 達也	変動地形学・アクティブテクトニクス・応用地球物理学	〃
		准教授 加納 靖之	地震学・歴史災害科学	〃
		准教授 亀 伸樹	地震破壊のモデリング	〃
		准教授 蔵下 英司	観測地震学・プレート構造論	〃
		准教授 小山 崇夫	地球内部電磁気学・火山電磁気学	〃
		准教授 鈴木雄治郎	火山学・火山物理学	〃
		准教授 馬場 聖至	海底電磁気学	〃
		准教授 福田 淳一	測地学・地殻変動	〃

地球惑星科学専攻

専 攻	グループ	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
	固体地球科学	准教授 前野 深	火山学・火山地質学・火山岩石学	地震研究所
		准教授 行竹 洋平	火山地震学	〃
		教 授 沖野 郷子	海洋底地球物理・テクトニクス	大気海洋研究所
		准教授 朴 進午	海洋地質・地球物理学（反射法地震探査）	〃
		准教授 山口 飛鳥	海洋地質学・構造地質学・テクトニクス	〃
		教 授(委) 船守 展正	放射光科学・高圧力科学・地球惑星内部物質科学	高エネルギー加速器研究機構
		教 授 三宅 弘恵	強震動地震学	東京大学大学院情報学環
		准教授(委) 佐久間 博 ※	鉱物物理学・粘土鉱物学・地殻流体	物質・材料研究機構
	地球生命圏科学	教 授 遠藤 一佳 ◆	分子古生物学・貝殻形成論	理学系研究科地球惑星科学専攻
		教授(兼) 鍵 裕之	地球深部物質学・高圧科学・地球化学・鉱物科学	理学系研究科地殻化学実験施設
		教 授 後藤 和久	地質学・堆積学・古津波学・古台風学・比較惑星地質学	理学系研究科地球惑星科学専攻
		教 授 高橋 嘉夫	地球化学・環境化学・放射化学（特に分子環境地球化学）	〃
		准教授 板井 啓明	環境地球化学・生態系物質循環学・陸水化学	〃
		准教授 鈴木 庸平	地球微生物学・物質環境学・ナノ鉱物学・火星生命探査・惑星保護	〃
		准教授 平沢 達矢	古生物学・進化発生学	〃
		准教授 白井厚太郎	地球化学・(古)環境学・(古)生態学・気候変動/物質循環/生態系の共変化史解明	大気海洋研究所
		講 師 栗栖 美菜子	地球化学、大気化学、海洋化学	〃
		准教授(委) 坂井 三郎 ※	同位体地球化学・レーザー分光・微小領域解析技術	海洋研究開発機構
		准教授(兼) 佐々木猛智	古生物学・比較解剖学・分類学	総合研究博物館
		准教授(委) 對比地 孝亘	古脊椎動物学・脊椎動物比較解剖学	国立科学博物館
		教授(兼) 平田 岳史 ◆	地球化学・分析化学・同位体地球化学・年代学・地球メタロミクス	理学系研究科地殻化学実験施設

大学院理学系研究科指導教員専攻分野一覧

化学専攻

202504

【化学専攻 注意事項】

第一希望指導教員には出願前に必ず連絡し、各教員の受入予定に関しては個別に事前問い合わせをすること。

教員名欄の記載について：

※は、令和7年度実施の入学試験(令和7年10月入学/令和8年4月入学)において、修士および博士課程学生を受け入れない。

#は、令和7年度実施の入学試験(令和7年10月入学/令和8年4月入学)において、博士課程学生は受け入れない。

化学専攻

専 攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
化学	物理 化学系	教授 合田 圭介	光量子科学・情報化学・生体医工学	理学系研究科化学専攻
		教授 大越 慎一	物性化学	〃
		教授 石崎 章仁	量子物理化学・化学動力学	〃
		教授 佃 達哉	ナノ化学・触媒化学	〃
		教授 岩崎 純史	強光子場科学・レーザー分光学	理学系研究科附属アト秒レーザー科学研究センター
		特任教授 山内 薫 ※	強光子場科学・化学反応動力学	アト秒レーザー科学研究機構
		教授 森 初果 ※	有機固体化学	物性研究所
		教授 吉信 淳 #	表面物性・表面化学	〃
		教授 松田 巖	単原子層化学・先端X線分光	〃
		准教授（兼） 佐々木 岳彦	表面物理化学	新領域創成科学研究科
		教授（委） 雨宮 健太	表面科学・放射光科学	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所
		教授 真船 文隆	機能物理化学	総合文化研究科
	有機 化学系	教授 菅 裕明 ※	生物有機化学・合成生物学	理学系研究科化学専攻
		教授 大栗 博毅	天然物化学・合成化学	〃
		教授 磯部 寛之	物理有機化学・構造有機化学	〃
		教授 Robert CAMPBELL	生体分子化学	〃
		特任教授 石谷 暖郎	有機合成化学・触媒化学	理学系研究科附属グリーンサステナブルケミストリー社会連携講座
		特任教授 中村 栄一 ※	物理有機化学・合成化学・ナノ科学	総括プロジェクト機構「革新分子技術」総括寄付講座
		特任教授 小林 修	有機合成化学・サステナブルケミストリー・アクア有機化学	総括プロジェクト機構「グリーン物質変換」総括寄付講座
		教授（兼） 寺尾 潤	有機電子材料化学	総合文化研究科
	無機 分析 化学系	教授 小澤 岳昌	分析化学	理学系研究科化学専攻
		教授 一杉 太郎	固体化学・固体界面科学	〃
		教授 山田 鉄兵	無機化学・電気化学	〃
		教授 楊井 伸浩	錯体化学・光化学・スピン化学	〃
		教授 鍵 裕之	地球深部物質学・高压科学・地球化学・鉱物科学	理学系研究科地殻化学実験施設
		教授 平田 岳史	最先端計測化学	〃
		教授 小畑 元	海洋無機化学	大気海洋研究所

化学専攻

専 攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
	無機 分析 化学系	准教授（委） 岡田 達明	太陽系化学・惑星探査科学	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所
		教授（兼） 平岡 秀一	有機化学・超分子化学	総合文化研究科
		教授（兼） 角野 浩史	同位体地球化学・揮発性物質地球化学	先端科学技術研究センター

大学院理学系研究科指導教員専攻分野一覧

生物科学専攻

202504

【生物科学専攻 注意事項】

教員名欄の記載について：

※は今年度博士課程の学生を受け入れない教員

生物科学専攻

専 攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
生 物 科 学		准教授 國 友 博 文	分子行動遺伝学	理学系研究科生物科学専攻
		教 授 濡 木 理	生化学・構造生物学	〃
		准教授 伊 藤 弓 弦	生化学・構造生物学	〃
		教 授 反 町 典 子	分子炎症免疫学・免疫代謝学・アカデミア創薬	〃
		准教授 小 島 大 輔	神経機能生化学	〃
		教 授 黒 田 真 也	システム生物学	〃
		教 授 角 田 達 彦	医科学数理・オミクス腫瘍免疫学	〃
		准教授 杉 村 薫	多細胞秩序形成学	〃
		准教授 豊 島 有	システム神経科学	〃
		教 授 竹 内 春 樹	分子神経科学・電気生理学・分子行動学	〃
		教 授 上 村 想太郎	一分子遺伝学	〃
		教 授 榎 本 和 生	神経細胞生物学・分子遺伝学	〃
		准教授 鈴 木 郁 夫	神経生物学・発生進化学	〃
		教 授 東 山 哲 也	発生細胞生物学	〃
		准教授 吉 田 大 和	植物細胞生物学	〃
		准教授 稲 垣 宗 一	遺伝学・ゲノム動態学	〃
		教 授 大 杉 美 穂	発生細胞生物学・分子発生学	〃
		准教授 原 昌 稔	分子生物学・発生細胞生物学	〃
		教 授 塚 谷 裕 一	植物発生遺伝学	〃
		准教授 古 賀 皓 之	植物進化発生学	〃
		准教授 近 藤 修	形態人類学	〃
		教 授 荻 原 直 道	自然人類学	〃
		教 授 太 田 博 樹	人類集団遺伝学・分子人類進化学・ゲノム人類学	〃
		准教授 伊 藤 恭 子	植物分子生物学	〃
		教 授 林 悠	神経科学・生理学・睡眠医科学	〃
		准教授 上 島 励 ※	動物系統分類学・分子進化学	〃
		教 授 土 松 隆 志	植物進化学	〃

生物科学専攻

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
		准教授 片 山 な つ	植物進化学・多様性生物学	理学系研究科生物科学専攻
		准教授 井 原 泰 雄	進化人類学・集団生物学	〃
		教 授 大 橋 順	ヒト進化遺伝学	〃
		教 授 川 北 篤	植物生態学	理学系研究科植物園
		准教授 種子田 春 彦	植物生理生態学	〃
		教 授 三 浦 徹	生態発生学・進化発生学	理学系研究科臨海実験所
		准教授 小 口 晃 平	生態発生学	〃
		准教授 眞 田 佳 門	発生神経科学	理学系研究科遺伝子実験施設
		准教授(兼)狩 野 泰 則	海洋生態学・貝類学	大気海洋研究所
		教 授(兼)兵 藤 晋	魚類生理学・比較内分泌学	〃
		准教授(兼)神 田 真 司	神経内分泌学・比較内分泌学	〃
		教 授(兼)井 上 広 滋 ※	分子海洋生物学	〃
		准教授(兼)新 里 宙 也	分子海洋生物学	〃
		教 授(兼)遠 藤 秀 紀	遺体科学	総合研究博物館
		教 授(兼)海 部 陽 介	形態人類学	〃
		教 授(兼)武 川 睦 寛	分子細胞生物学・シグナル伝達	医科学研究所
		教 授(兼)稲 田 利 文	分子遺伝学・生化学	〃
		教 授(兼)西 村 栄 美	幹細胞生物学・老化生物学	〃
		教 授(兼)小 林 武 彦	ゲノム再生学・分子老化学	定量生命科学研究所
		教 授(兼)胡桃坂 仁 志	クロマチン構造機能学	〃
		教 授(兼)奥 山 輝 大	行動神経科学・神経生理学	〃
		教 授(兼)加 藤 英 明	構造生命科学・タンパク質エンジニアリング	先端科学技術研究センター
		准教授(兼)大 澤 毅	ニュートリオミクス・腫瘍学	〃
		教 授(委)細 矢 剛	菌類系統分類学	国立科学博物館
		准教授(委)奥 山 雄 大	植物進化生態学	〃
		准教授(兼)森 田 航	歯の人類学	〃
		教 授(委)鐘 巻 将 人	分子生物学・バイオテクノロジー	国立遺伝学研究所
		教授(客員)白 須 賢	植物免疫学	理化学研究所
		教授(客員)杉 本 慶 子	植物細胞機能学	〃
		教授(客員)中 村 友 輝	植物生化学・分子生物学	〃
		教 授(委)深 津 武 馬	共生進化学	産業技術総合研究所
		教 授(委)古 澤 拓 郎	人類生態学・地域研究	京都大学大学院アジア・アフリカ地域 研究研究科東南アジア地域研究専攻

生物科学専攻

専攻	サブ コース	教 員 名	専 攻 分 野	所 属 部 局
		准教授(委) 吉 種 光	時間生物学・機能生化学	東京都医学総合研究所
		教 授(兼) 松 崎 政 紀	神経生理学・行動神経科学	医学系研究科機能生物学専攻
		教 授(兼) 岡 田 康 志	生物物理学・細胞生物学	理学系研究科物理学専攻
		教 授(兼) 古 澤 力	普遍性生物学・生物物理学	理学系研究科附属生物普遍性機構
		教 授(兼) 小 澤 岳 昌	分析化学	理学系研究科化学専攻
		教 授(兼) 遠 藤 一 佳 ※	分子古生物学	理学系研究科地球惑星科学専攻
		教 授(兼) 坪 井 貴 司	分子細胞生理学・神経科学	総合文化研究科広域科学専攻 生命環境科学系
		教 授(兼) 道 上 達 男	分子発生生物学	〃
		教 授(兼) 佐 藤 健	生化学・細胞生物学	〃
		教 授(兼) 阿 部 光 知	植物分子遺伝学	〃
		教 授(兼) 加 納 純 子	分子遺伝学・染色体生物学	〃
		准教授(兼) 末 次 憲 之	植物分子生理学・植物光生物学	〃
		准教授(兼) 晝 間 敬	植物微生物相互作用学	〃
		教 授(兼) 増 田 建	植物分子生物学・葉緑体色素の分子生理学	総合文化研究科広域科学専攻 広域システム科学系
		教 授(兼) 澤 井 哲	システム生物学・物理生物学	総合文化研究科広域科学専攻 相関基礎科学系
		教 授(兼) 若 杉 桂 輔	分子生命科学	総合文化研究科附属教養教育 高度化機構
		准教授(兼) 尾 田 正 二	生殖生物学	新領域創成科学研究科先端生 命科学専攻
		准教授(兼) 小 嶋 徹 也	昆虫分子進化発生学	〃
		教 授(兼) 松 永 幸 大	生命動態学・統合生命科学	〃
		教 授(兼) 大 谷 美沙都	植物分子遺伝学・RNA生物学・細胞壁生物学	〃

検定料振込依頼書

※出願者へのお願い

- 1. 太枠で囲まれている記入欄は、全て黒ボールペンで記入して下さい。
- 2. 必ず窓口で払い込み、ATM、インターネット等是不利しないで下さい。
- 3. 払込金受付証明書(C票)は、払い込み後、オンライン出願サイトにアップロードして下さい。
- 4. 「整理番号」の35のあとに、志望の専攻コードを入力して下さい。(右の表を参照のこと)
- 5. 三井住友銀行本店にて振込の場合の振込手数料は無料となりますが、他行から振込の場合の振込手数料はご負担願います。(ゆうちょ銀行・郵便局からの振込はできません。)
- 6. お振込は、2025年6月2日(月)～6月24日(火)の間をお願いします。

専攻コード表

物理学	天文学	地球惑星科学	化学 (4月入学)	化学 (10月入学)	生物科学
150	200	230	300	301	400

振込依頼書

(「東京大学」入学検定試験検定料)

ご依頼日

科目

年

月

日

電信扱

振込先

三井住友銀行 東京第一支店

受取人

トウキョウダイガク

東京大学

整理番号

出願者氏名

3

5

M

氏名

出願者氏名

氏名

金額

30000

手数料

0

出納印

※【取扱金融機関へのお願い】

1. 6桁の整理番号は、氏名頭部へ連続して打電して下さい。

2. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印して下さい。

3. B・C票は、必ず依頼人へお返し下さい。

振込締切日(金融機関取扱期限)

2025年6月24日(火)

(取扱金融機関保管)

振込金受取書

(「東京大学」入学検定試験検定料)

令和

年

月

日

金額

30000

振込先

三井住友銀行 東京第一支店

受取人

トウキョウダイガク

東京大学

整理番号

35

M

学生

氏名

手数料

0

出納印

収入印紙

振込締切日(金融機関取扱期限)

2025年6月24日(火)

(出願者保管)

「東京大学」入学検定試験
検定料払込金受付証明書

令和

年

月

日

金額

30000

振込先

三井住友銀行 東京第一支店

受取人

トウキョウダイガク

東京大学

整理番号

35

M

学生

氏名

出納印

振込締切日(金融機関取扱期限)

2025年6月24日(火)

(オンライン出願サイトアップロード用)

「切り離しのうえ、大学院担当に提出してください」

東京大学大学院 理学系研究科 検定料払込方法

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>



学校一覧から、『東京大学大学院』または『東京大学大学院(中国決済専用)』のどちらかを選択してください。

『東京大学大学院』では、中国決済以外の払込を選択することができます。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号
をメモしてください。



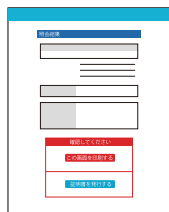
2 お支払い



3 出願

【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果をPDFファイルで出力してください。



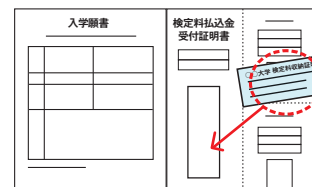
※当サイトにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の「検定料払込金受付証明書」に貼付。貼付した証明書をPDFまたは画像ファイル保存する。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



※コンビニにてお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了しますので、23:00までにお手続きしてください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は、店頭では一切返金できませんのでご注意ください。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。